

杉戸町今昔拾遺録

温古知新
杉戸の
歴史こぼれ話
第19回

杉戸町文化財講習会「杉戸町の古文書―近世文書を中心に―」

講師：立正大学文学部専任講師 栗原健一先生

今回は、令和7年9月13日(土)に開催された杉戸町文化財講習会「杉戸町の古文書―近世文書を中心に―」についてお伝えします。私たちの地域の歴史を解き明かす鍵…それが「古文書」です。講師の栗原先生は、文化財としての古文書が持つ本質的価値と、その保存の重要性について解説されました。

近年、文化財行政は大きな転換期を迎えています。国宝、重要文化財、地域の指定文化財だけでなく、未指定の文化財も「歴史遺産」として地域全体で守り活用する「地域総がかり」の取り組みが進められています。特に江戸時代の村に残された「村方文書」には、当時の人々のリアルな暮らしが記されており、地域の歴史を物語る確かな「証拠（エビデンス）」となっています。年貢の記録や村の取り決め、災害の記憶、人々の往来など、教科書には載らない生活の実態がそこには刻まれています。

しかし、これらの貴重な資料は今、世代交代や空き家の増加に伴い失われる危機に瀕しています。「読めないから」、「価値がわからないから」と、多くの古文書が処分されているのが現状です。古文書を読み解くには専門的な知識と訓練が必要であり、所有者自身がその価値を認識できないまま、倉庫や蔵の整理とともに失われていくケースが後を絶ちません。一度失われた古文書は二度と戻らず、地域の記憶は永遠に途絶えてしまいます。

栗原先生は、古文書が地域のアイデンティティを未来へ繋ぐ財産であると訴えます。古文書は、地域共同体が世代を超えて共有してきた記憶そのものを、物理的に支える外部装置ともいえるからです。これを失うことは、単なる記録の喪失ではなく、地域の物語そのものの拠り所を失うことを意味します。だからこそ専門家に任せせず、ひとりひとりが関心を寄せ、身近な古文書が存在に気づき、その価値を見直すことが、地域の歴史を守る第一歩となるのです。

(社会教育課 町史・文化財担当編)



講習会の様子



わが家のアイドル



詳しくはこちら▶



こちらから簡単応募!▶



掲載された方には**特製カード**をプレゼント！
皆さんのステキな1枚をお待ちしています！

※大好評につき現在多くのご応募をいただいております。掲載は受付順となりますので、応募から掲載までお時間がかかる場合があります。ご了承ください。

いのうえ れん
井上 蓮ちゃん

令和7年1月5日生

生後5ヶ月！
元気いっぱい育ってね



おがわ こうま
小川 晃舞ちゃん

令和5年5月23日生

2歳おめでとう！



かわがひ バニー
川上 バニーちゃん

平成19年5月24日生

18歳の健康おばあちゃんだワン！



さくま みけ
佐久間 ミケちゃん

令和2年10月29日生

よく喋る、人見知りしない娘です。



ふるしま たけし
古島 剛ちゃん

平成28年1月6日生

愛してるよー！



やまぐち らめる
山口 らめるちゃん

令和4年1月12日生

いつも元気いっぱいのらめるです。



UD FONT
by MORISAWA

読みやすい書体であるユニバーサルデザイン(UDフォント)を使用しています。



杉戸町
ホームページ



メール配信
「すぎめー。」



広報スマホ版
マチイロ



杉戸町
公式LINE



杉戸町
公式X